

『婦人と子ども』記者へ

M T 生

『婦人と子ども』記者足下

秋も愈々深くなりました。物静かな碧落から降り注ぐ琥珀色の陽光が廳がて黄色味の勝つた冬の弱い光線に變つて行く今日此頃は本當に讀書と思索には都合のいゝ時候で御座います。——貴重な誌面でアフエクターション澤山の文句を、並べて居ることは一種の罪惡かも知れませんが、それでは早速本題へ入ることにしまして、さて又こゝで、

『婦人と子ども』記者足下

と來ませう。いづれの社會でも各自の領分に屬する雑誌を經營して相應の進歩發展を見つゝあることは今更事新しく申上げるまでもありません、それで小學教育に關する定期刊行物と言つたら殊に多いのであります。兎に角麻つなぎに關する専門

雑誌が相應に捌け口を持つて居る世の中ですから小學教育に關係した雑誌が盛大に行はれてゐると太した不思議に思ふことはありません。「小學教育」「初等教育」「教育之實際」(以上の如き名稱の雑誌が多分あつたらうと思ふのです、はつきり覺えてゐないから、何うだか分りませんが)などと種々の雑誌が活躍してゐて、實に多士濟々ノノ／＼ズキ／＼の觀があるのであります。然るに眼を一たび我が保育界に轉じた時は何うでありますか誠に秋風落葉の感に堪えないのであります、一として其形を具へたものを見ないのであります——イヤこれは失禮、「婦人と子ども」は言ふまでもなく立派な雑誌であります。機關雑誌の振はないといふだけの事實によつて我が保育界の無氣力であ

り且つ非活動的であるといふことを言ひ募る程の
輕卒家も居ますまいが、他人は兎も角、我が愛す
る保育界の人々が何故もつと熱心に其の機關雜誌
を向上せしめやうと努めないものでありませうか。
これが何うも旋毛曲がりの小生をして絶えずやき
もきさせる事件なのであります。あまりのフェミ
ニズムではありませんか。女だてらにと考へて控
え目にすることは日本婦人に特有なゆかしい道徳
であります、分りもしない癖にシャ／＼り出て、
無いもしない智識をしやべり立てやうとすること
こそ淺ましい限りではあります、それとこれと
は話が違ひます、正當な主張——正しく生きやう
とする人には是非何かの主張がある筈です、今の
社會は我々の主張をして無意味ならしむる程に完
全ではありません。婦人は何の主張も持つてゐな
いのでせうか、保姆は何の主張も持つてゐないの
でせうか。

リツプスとかいふ獨逸の學者の骨抜き（多分さ

うなんだらうと思ひます、)の解説を少しばかり他
人から注ぎ込んで貰つて、一ぱし思想家らしい顔
附をして納つて居る愛すべき女流歌人が相應にお
手拍子御喝采を浴びて居る世の中です。保姆諸君
が御飯を三粒づゝ頂戴して、「お大人しい」といふ
興評を受けてゐらつしやると變な新しい女が出て
來たり何かして困ります。小生は何うしても保姆
諸君に起つていたゞきたいと思ふのであります。
こゝらで又一つ相の手を入れて、

『婦人と子ども』記者足下

とやります。過般の全國女教員大會は却々立派な
ものだつたとか聞き及びます。下田某女が英國の
婦人の會だかを見て來て、日本には何時こんな會
が催されるかと思つてゐたのに、こんな立派な會
合が婦人ばかりの手に依つて催されるやうになつ
たと思ふと日本の婦人も餘程進歩したものである
と婆さん相應の感想を事々しく物語つたやうに新
聞紙に出て居りました。下田某女の感心振りによ

つて見ると確かに小學校の女教員の中には豪い人が澤山に出て來たに相違ありません。

乃で御相談があります。それは我が國の保姆諸君が小學校の女教員と同じ位に、否それ以上に、能動的になつて頂くわけにゆきますまいかと言ふことであります。小生はこれを「婦人と子ども」の編輯者に諮ると共に、保姆諸君自身にも諮るのであります。保育界の活氣は直ちにその機關雜誌に反映として現れる筈であります、而して機關雜誌は又その讀者たる保姆諸君に有益なる暗示を與へなければなりません、つまり如何なる方面の機關雜誌でもこの相互作用を缺いたならば、それはもう機關雜誌としての存在の意義を失ひ、たゞ無用の附加物として残るに過ぎなくなるのであります。機關雜誌を有益に利用する團體は常に生氣に溢れ活動に充ちて居る筈であります、このことを裏から申しますと結局保育界に活氣がないから機關雜誌が一向振はないと言ふことになります。斯うい

ふことは「婦人と子ども」の讀者諸君に對しても或は失禮な申分に當るかも知れません、しかし小生は「何の寢言ぞ」とお叱りを讀者諸君から受けることを敢て望むのであります、何とかいふ支那人が母に打たれて母の力の衰へぬことを知つて喜んでと同じ意味に於て。

「婦人と子ども」記者足下

あまり長く惡たれて居るものもよろしくありません。——小生は「婦人と子ども」の記者に益々健闘を望むと共に、讀者たる保姆諸君に大いに活動的になつていただくことを望むのであります、歐洲戦争を引張り出して來たり何かしてこちたき理窟を並べることは一切控えます。飽くまでも保姆諸君の活動を熱望して歇まない小生の微意が幾分たりともこの駄文によつて讀者諸君に通ずれば幸であります。